

会議名称	第6回地域情報化推進委員会
日時	平成21年3月16日（月） 19:00～21:08
場所	4階会議室1-C
出席者 (敬称略)	地域情報化推進委員会：古山良太郎、菅沼孝行、荒木弘子、河合仁子、鈴木武史、 橋山昌人、深田雄子、山下真弘、菅沼憲夫、坂尻規康 事務局：笹本、今駒、土屋、戸塚、藤田哲、藤田学

## 1 開会(19:00)

## 2 委員長挨拶

地域情報化に関しては、IT講習会などいろんな事業が順調に進んでいると思っています。今後も進めていってほしいと思います。

## 3 協議報告事項

### (1) 本年度導入システムについて

(事務局)

ホームページ作成システム、メールマガジン配信システム、ホームページ検索システムについて説明。

(委員)

ホームページで検索してもなかなか検索したいものが出てこないことがよくありますが、民間サービスを利用するということが多少改善するのでしょうか？精度を高めていくのは難しいのでしょうか？

(事務局)

内容を見て総合的に判断するわけではなく、機械的に検索するため、どうしてもそのようになってしまうことが多いのが現状です。ただ、民間サービスでは、要望を聞いて検索システムの向上を日々しているため、少しずつですが、改善されていくと思います。

(委員)

ホームページ内の検索をするよりも、外の検索ページから検索した方が精度がいい場合もあるため、ぜひ使いやすい検索について研究をお願いします。

(委員)

モバイル掛川のアドレスは変わりましたか？

(事務局)

ホームページシステムを更新した関係で3月10日から変わっています。

(委員)

新幹線の時刻表等を見るために携帯電話に登録してありましたが、広報にもQRコードを印刷していますが、登録を変えるようにアナウンスしますか？

(事務局)

4月1日号からは変わりましたとアナウンスするようにします。

(委員)

活用しているのは私だけでないと思いますので、できれば変更になったお知らせをしていただきたいです。

(委員)

メルマガはいつ頃から始まっていたのですか？

(事務局)

合併時から始めました。

(委員)

同報無線の放送が聞きにくい場合もあるため、こういうのはいいですね。

(事務局)

同報無線のメールマガジンは、4月1日号の広報に掲載され、広く広報していくこととなります。聴覚障害をお持ちの方は、同報無線を聞き取ることができず、火災など危険な場合がありますので、そのようなことを解消するためにも活用していきたいと思います。

(事務局)

議会中継について説明

(委員)

動画が出るまでにかなり時間はかかりますか？

(事務局)

回線速度によります。ADSLでも遅い地域もありますし、各家庭の環境では、ブロードバンドではなく、いわゆるナローバンドといわれる細い回線でご覧になられると時間がかかると思います。

(委員)

パソコン初心者にとっては、待ち時間が不安になってしまうため、しばらくお待ちくださいといったような画面は出せませんか？

(事務局)

今のところ出せませんが、研究したいと思います。

(委員)

パソコン初心者は、自分の操作が悪いと思ってしまうので、マウスでクリックをたくさんしてしまうことがあります。もし、そのような画面が出せれば、不安はなくなると思います。

(事務局)

e 地図かけがわについて説明

(委員)

地図は自由に個人が使えますか？ワードに取り込んで編集などができますか？

(事務局)

地図は印刷ができます。ワードに取り込む場合は、特に機能はないため、画面コピー等をしていただく必要があると思います。

(委員)

市内全域がみれますか？

(事務局)

基本的には、市内全域、市外も含めて閲覧できますが、市所有の精度の高い地図として地形図を提供しておりますが、もともと北部地域が未整備なため、地形図がない地域もあります。整備ができ次第、提供もしていきたいと思っております。

(委員)

地図は、場所を誰かに知らせるときにとてもわかりやすいと思っておりますが、コンビニとかスーパーなどの目印になるような目立つものがないと案内しにくいと思っております。そのようなものは表示されますか？

(事務局)

地形図には、少しですが主要な建物には名前が入っています。ただあえてスーパーなどを紹介するというのは難しいかも知れません。

(委員)

目印になるものがこの程度入っていれば問題ないと思っております。

(事務局)

今後も市の持っている情報をできるだけ出せるように、それぞれの部署と相談しながら出していきたいと思っております。

## (2) 「掛川市の地域情報化への提言」進捗状況

(事務局)

「掛川市の地域情報化への提言」進捗状況について説明

(委員)

高速インターネット環境の整備でFWAとありますが、これについて少し説明をお願いします。

(事務局)

FWAとは、16mくらいのアンテナを立て、各家庭にも戸別にアンテナを立てて無線で通信のやりとりをする方式です。通信速度は、光ケーブルほどではないのですが、それに準ずる速度が出ます。だいたい40Mbpsと言われております。アンテナで通信するので、アンテナ同士が見えていないと通信ができず、山や丘を挟むと通信しにくいという特性があります。そのため、和田岡地区では条件が合わず、導入することができませんでした。現在、これに限らず、他の無線、ケーブルテレビ、衛星など様々な手法を研究しております。

特に、この地区は、ブロードバンドエリアにもかかわらず、ADSLが使えない地域なので、問題解消のため、重点的に進めたいと考えております。

(委員)

光ファイバは掛川では主に中心地域にしか使えない状況ですが、袋井では、笠原が使ってその横の横須賀は使えない状態です。横須賀地域は結構人が集まっているため引いてもいいように思えるのですがいかがでしょうか？

(事務局)

光ファイバは電話局の局舎単位で展開しているようです。そのため、局舎単位で採算がとれるかどうか判断しているのだと思っております。

(委員)

もう少しの所まで引かれてきていることを思うと残念な気がします。

(委員)

電話はユニバーサルサービスなので、引かなければならないということで全国に張り巡らされているわけですが、光電話は、今のところ企業努力に委ねられています。そのため、NTTは電話会社なので、局舎単位で採算を考えてのばすようにしています。企業としては採算がとれなければできないため、現在のような状態になっています。光に限らず様々な手法を検討した方がいいと思います。

(委員)

ITアドバイザー養成講座を受講された方で、どのくらいの方が自分の地域でパソコンを教えているか教えてください。自分の経験では、高齢の方がパソコンを覚えるには繰り返しやらないと難しいと思うので、このような方が地域に入って教えるようになれば良くなっていくと思います。

(事務局)

ITアドバイザー養成講座を受講された方に対し、IT基礎講習やミニ講座のサブ講師を体験していただくようなことはしております。ただ、受講者が自発的にパソコンの使い方を教える講座を行っているということは聞いていません。

(委員)

確かにパソコンは継続して使っていただかないと使えるようにはならないと思います。でも、この講習を受けただけでは、使い方は教えられるのですが、トラブルを解消することは難しいと思います。また、ワードやエクセルが使えるだけでは、やりたいと思っていてもなかなか人を集めて講習を行うまでは難しいと思います。一人ではどうしていいのかわからない。地区で必要とされているのかわからない。そういう感じで思っている方が多いのではないのでしょうか。

IT基礎講習については、参加の状況はどうか？

(事務局)

今までは高齢の方に受講していただくことが多かったのですが、最近、比較的若い方が受講するようになってきています。受講人数は、地区によっては、多いところ、少ないところとまちまちです。そのため、少ない地区はある程度まとめて開催するなどをしていきたいと思っています。

(委員)

年度の初めくらいにITアドバイザー養成講座の受講者にサブ講師などのメニューを紹介してできるものについて協力するなどの方法をとったらいかがでしょうか。

(事務局)

そのような仕組みも考えて行きたいと思っています。

(事務局)

理想は、ITアドバイザー養成講座を受講された方を登録してパソコンのことでわからないことがあれば、その方を紹介するというような人材バンクにすることだと思っています。それと、IT基礎講習は、受講した方がそのままになってしまっていることがありますが、お気軽にIT政策課へお問い合わせいただくサポートセンターというのも用意しているので

すが、あまり知られていないというのが現状だと思います。講習を開催しただけにならないように、また、いろいろな講習が繋がって、最終的に人材バンクに繋がっていくというものにしたいと考えています。そのためにIT政策課としては、PRや受講者へのフォロー等を考えてやっていきたいと思っています。

(委員)

住基カードのことですが、印鑑証明のカードとして使えるようになっていませんか？医療カードというのはなんですか？

(事務局)

住基カードは、印鑑カードとしての位置づけがあります。そのため、住基カードを使って印鑑証明書をとることができます。ただ、住基カードには、有効期限があるなどの理由で印鑑カード自体は廃止していません。医療カードというのは、現在、厚生労働省で検討されている「社会保障カード」のことです。まだ構想の段階ですが、実現すれば、住基カードに保険証の機能と年金手帳の機能などが付加され、例えば、会社が変わって健康保険が変わっても、保険証を変えなくても住基カードのデータを書き換えることで対応する等が考えられます。

### (3) 平成21年度地域情報化主要事業の概要

(事務局)

平成21年度地域情報化主要事業の概要について説明

(委員)

市民課では時間外窓口を木曜日開庁してやっています。自動交付機を使えばもっと時間外でのサービスが可能になると思います。それと設置する場所も住民票や印鑑証明書を必要とする場所におけば、利便性は高まるし、カードの普及も進んでくると思います。現在、コンビニなど24時間でやっているところもありますので、セキュリティの問題等あるとは思いますが、設置する場所、時間などもっと検討してほしいと思います。

(事務局)

わかりました。それと、総務省では、コンビニで住民票を出せるように現在検討しているようです。これが可能になれば、確実に利便性は向上すると思います。今後も動向を追っていきたいと思います。

## 5 閉会 (21:08)